

『新編八戸市史 通史編Ⅰ 原始・古代・中世』 正誤表

頁	部分	行	誤	正
18	本文	6	土面か？	土面カ
21	小見出し	2つ目	出土品の重要美術品指定	出土品の重要美術品認定
22	本文	12	昭和三十七年になると、兄弟は	兄弟は
22	本文	12	八戸市特別功労者	昭和三十七年に八戸市特別功労者
22	本文	13	さらに翌年には紺綬褒章が	さらに紺綬褒章も
22	本文	13	岩次郎は、この年に	岩次郎は、昭和三十八年に
93	図82キャプション		能ノ林遺跡	熊ノ林遺跡
234	本文	8	犬の皮か	犬の皮カ
238	本文	4	〔ルビ〕 あづまかがみ	〔ルビ〕 あずまかがみ
238	図108キャプション		御田屋より	御田屋ヨリ
261	本文	19	『吾妻鏡』同日	『吾妻鏡』同日条
269	頭注4	2	の代行的	の後見的
269	頭注4	3	裁判を	裁判などを
271	図35キャプション		を中央に配置	を配置
271	図35キャプション		その両側に町屋が広がる	木戸や町屋の広がりが見られる
276	図37		義村	(位置の移動)
278	本文	16～17	六)、北奥・蝦夷島における蝦夷の	六)、蝦夷の
279	本文	4	〔ルビ〕 かいずごぜん	〔ルビ〕 かいすごぜん
285	図46		ひさはう童・妹2人 一類につく方●4人	ひさはら童・妹つる 一類につく方●5人
286	本文	14	る)や、非定住者である「浪人」 など非農業的な性格が色濃く認め	る)など非農業的な性格の人物が 認め
286	本文	15	いう単位所領	いう各単位所領
286	本文	17	る。単位所領内の	る。各単位所領内の
286	本文	17	こうした遍歴性・	こうした広域的な展開・
288	頭注1	7	10月19日	10月19日条
288	頭注1	8	7月4日	7月4日条
294	図52キャプション		書き下し文	書き下し
302	図58キャプション		書き下し文	書き下し
303	図59キャプション		書き下し文	書き下し
304	図60キャプション		書き下し文	書き下し
318	図75キャプション		書き下し文	書き下し
319	図76キャプション		書き下し文	書き下し

『新編八戸市史 通史編Ⅰ 原始・古代・中世』 正誤表

頁	部分	行	誤	正
330	本文	4	〔ルビ〕 かいずごぜん	〔ルビ〕 かいすごぜん
354	本文	5	(のちの根城一二代)	(のち根城一二代)
361	本文	18	田鎖か	田鎖カ
419	本文	3	〔ルビ〕 うちほりよりしき	〔ルビ〕 うちほり
419	本文	9	直康 〔ルビ〕 なおやす	康実 〔ルビ〕 やすぎね
429	図187キャプション		静岡県小田原市	神奈川県小田原市
429	本文	7	〔ルビ〕 うちほりよりしき	〔ルビ〕 うちほり
430	図188キャプション		元服前の	青年期の
440	図205		高水寺	高水寺城
478	図259キャプション		寛永1年	寛永元年
479	図260キャプション		慶長1年	慶長元年
490	図275キャプション		元和1年	元和元年
492	本文	10	〔ルビ〕 うちほりよりしき	〔ルビ〕 うちほり
502	図295キャプション		元和1年	元和元年
506	図301キャプション		寛永1年	寛永元年
507	図303キャプション		寛永1年頃	寛永元年頃
515	本文	16	中興。	中興、
518	図324キャプション		元和1年	元和元年
521	本文	12	〔ルビ〕 さたちか	〔ルビ〕 さだちか
527	図338キャプション		生棲する鳥類	棲息する鳥類
540	本文	2	光明天題目大幡	光明点題目大幡
545	図14キャプション		岩手県青年教科書	岩手青年教科書
545	小見出し	1つ目	昭和十一年版岩手県青年教科書	岩手青年教科書
553	本文	19	光明天題目大幡	光明点題目大幡
554	図28キャプション		光明天題目大幡	光明点題目大幡
568	本文	6	後の八戸藩邸の地	のち八戸藩邸の地
569	本文	6	後の直栄	のち直栄
595	第三章	108番	御田屋より	御田屋ヨリ
612	年表	永承6年	安倍頼良	安倍頼良(頼時)